

あじかわぐちこ



地域を守る消防団

消防出初式でのポンプ操法

- こういうことを決めました 2～4P
- 予算特別委員会 5～7P
- 代表・関連質問 8～9P
- 一般質問 10～13P
- 窓・編集後記 14P

回 臨時議会 ● 3月定例議会

48万8千円の減額

平成22年度予算を審議

◆臨時議会◆

○平成22年の第1回臨時議会を2月5日に開会し、7つの案件を審議した。

船津地区公民館交流ホール新築工事請負契約締結

平成21年度富士河口湖町水道事業会計補正予算（第3号）

平成21年度富士河口湖町一般会計補正予算（第8号）

湖南水道事業常任委員会委員の選任の同意を求めること

西浜中学校屋内運動場耐震改修工事請負契約締結

他2案件

◆定例議会◆

それぞれ慎重審議し7案件ともに原案どおり承認、可決した。

○第2回臨時議会は、2月23日に召集され平成21年度富士河口湖町一般会計補正予算（第9号）について審議し、原案どおり可決した。

○3月定例議会は8日開会、会期を26日までの19日間と決め、条例改正案件9件、補正予算案件12件、同意案件11件、請願2件などを審議した。

町民生活に影響する平成22年度の一般会計予算及び33の特別会計予算は、全議員による予算特別委員会が設置され、審議された。

25日の本会議において、予算特別委員長から審査内容についての報告があり、すべて原案どおり可決した。

平成22年度の予算を審議する3月定例議会は、上程された78案件をすべて承認・可決し、25日に閉会した。

条例の制定

※富士河口湖町勝山墓地条例の全部を改正する条例

条例の一部改正

※西湖いやしの里根場条例の一部を改正する条例

※富士河口湖町保育の実施に関する条例の一部を改正する条例

※富士河口湖町高齢者体力づくりセンター条例の一部を改正する条例

※富士河口湖町勝山ふれあいドーム条例の一部を改正する条例

※富士河口湖町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

他2条例

こういうことを
決めました！

21年度
補正

●第1回臨時議会 ●第2
歳入・歳出42

◆一般会計補正予算◆

3月定例議会に上程された一般会計補正予算（第10号）は、歳入・歳出をそれぞれ4248万8千円減額するもので、県等の補助金、委託料の確定と年度末の予算精査によるものが主である。

歳入では、国庫支出金が1億5124万8千円の減額に対し、起債が8050万円増額となった。

歳出では、総務費が8126万1千円増えているが、この内7684万8千円は財政調整基金へ積み立てられる。

また、まちづくり交付金は、2億1834万2千円の減額となった。

◆特別会計補正予算◆

特別会計は、船津・小立・勝山・大嵐の各財産区、河口湖治水事業・町国民健康保険・町老人保健・町介護保険・町後期高齢者医療・船津公園墓地事業の補正予算が原案どおり可決された。

議員発議による請願2件を全会一致で採択

◆請願◆

請願第一号

核兵器廃絶の課題で日本政府に対し、唯一の被爆国として具体的努力を求める意見書の採択を求める請願

「請願趣旨」

核兵器のない世界を目指す動きは大きな転換期にさしかかっている。オバマ米大統領の発言は核兵器のない世界へ踏み出す決意と原爆投下に対する道義的責任に言及しており画期的な意味を持っている。

しかし、日本政府は少し違っており、2009年12月の国連総会での「核兵器保有国は核兵器廃絶の交渉に入るべし」という多数の国が賛成する決議案を棄権した。

こうした中ですべての自治体で「非核自治体宣言」をしている山梨県だからこそ日本政府に対して意見を述べる必要がある。

このため富士河口湖町議会は日本政府に対し、唯一被爆国として、核兵器

廃絶に向けて具体的努力を求める意見書を提出する。

請願第二号

「協同労働の協同組合法」の速やかな制定を求める意見書の採択を求める請願

「請願趣旨」

地域の様々な課題を解決するため、行政だけでなく住民自身の力に大きな期待がかかっている今日の状況の中で、地域に密着した公益性の高い活動については、NPO（特定非営利活動法人）、協同組合、ボランティア団体などによって事業展開されている。

この一つである「協同労働の協同組合」は、全国各地で社会的価値と働きがいのある民生的で労働実感のある職場づくりと地域に役立つ仕事おこしの活動を進めている。

ついては、この法制化の流れを推し進めるため、国会でのしっかりした議論と速やかな制定を強く要望するとともに富士河口湖町議会においても審議し、決議のうえ関係行政官庁あてに意見書の提出を求める。

こういうことを
決めました！

11の同意案件を全会一致で同意

◆財産区組合 議員の選挙◆

河口湖木無山外六字恩賜
県有財産保護財産区組合議
員選挙は、全会一致で議長
による指名推選に決定した。
当選人は次のとおり。

高山 泰治議員
駒谷 隆利議員

◆同意案件◆

11の同意案件を全会一致で
同意

(以下敬称略)

【精進財産区管理委員 選任の同意】

精進 渡邊袈裟司
精進 渡邊 好男
精進 渡辺 芳美

精進 山田 喜智
精進 渡邊 良次

【本栖財産区管理委員 選任の同意】

本栖 伊藤 正照
本栖 山口 正文
本栖 伊藤 昇
本栖 伊藤 正一
本栖 滝口 雅博

【大室山外三十字恩賜県有 財産保護財産区管理委員 選任の同意】

精進 渡邊袈裟司
精進 渡邊 好男
精進 渡辺 芳美
精進 山田 喜智
本栖 伊藤 昇
本栖 伊藤 正一
本栖 滝口 雅博

【副町長選任の同意】

弦間 正仁
(県庁より派遣)

【長浜財産区管理委員 選任の同意】

長浜 梶原 庸男

【大嵐財産区管理委員 選任の同意】

大嵐 三浦 金夫
大嵐 渡邊 正勇

【小立財産区管理委員 選任の同意】

小立 渡邊 岩次

【大石財産区管理委員 選任の同意】

大石 天野 良二

【河口財産区管理委員 選任の同意】

河口 三浦 和政
河口 渡邊 義道
河口 中村 太一

【西深沢外十三字恩賜県 有財産保護財産区管 理委員選任の同意】

河口 三浦 和政
河口 渡邊 義道
河口 中村 太一

【船津財産区管理委員 選任の同意】

船津 井出 俊



平成22年度 町の財布の中身を審議！

平成22年度一般会計予算
歳入・歳出総額100億8,700万円



委員長
倉沢 鶴義 議員

副委員長
渡辺 元春 議員

予算特別委員会

一般会計

総務課 関係

質問 現在、町の公債費（借入金）の総額はいくらか

財政係長 20年度末一般会計現在高で154億9808万1000円である。

質問 平成19年度に起こした精進湖地区の温泉の土地購入7000万円の債務負担行為は執行されているか。

町長 現時点では借り入れを起こしていない。

質問 財産収入のうちの利子及び配当金の今年の利回りは。

出納室長 利息は普通預金が今0・04%、また定期預金は0・05%程度となっている。

管理課 関係

質問 多機能型消防車をどう活用していくか。

管理課長 消防団全体のシンボルとして、全町的な災害・有事の際に活用していく。

質問 消火栓と防火水槽の設置の相互関係は。

管理課長 消火栓は水道管の口径・水圧が関係するが、現場確認をしっかりとる中で水道課とも調整し検討する。

質問 町消防団で、団員の不足している分団と不足人数は。また、補充する考えはあるか。

管理課長 現在20人弱、条例定数に満たないが、これは足和田地区と上九一色地区である。分団ごとに定数があるので、不足している分団に団員の確保を依頼していく。

企画課 関係

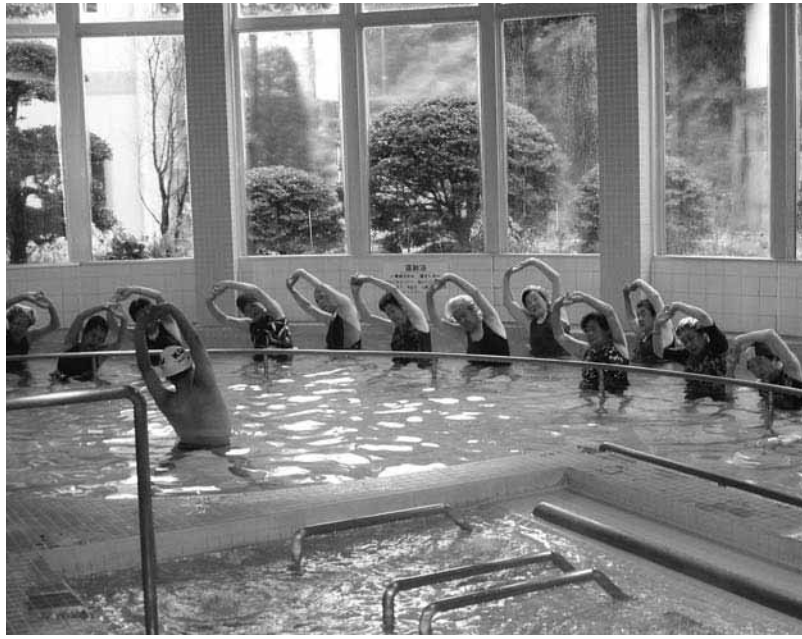
質問 今年は5年に一度の国勢調査の年だが、対象世帯の把握方法は。

企画課長 住民基本台帳法の住民登録は必要ないので、家がある限り全部歩いて戸別調査をする。

質問 集英社の堀内丸恵常務は本町出身だが、「少年ジャンプ」を編集するとき、読者の声を聞くため本にはがきを入れ大成功したという。町の広報でもはがきを入れて、住民の声を聞くということはどうか。

企画課長 良い提案をいただいたので検討したい。

質問 国際的な観光都市である当町では外国人の国勢調査対象者も多いと思うがその対応策は考えているか。



健康プラザ水中ウォーク

今後もあらゆる機会を使いPRをする。
質問 世界文化遺産の登録推進で、観光立町の当町は町長が先頭に立つべきだが、どう考えるか。

町長 現時点で山梨・静岡両県の方針がしつかり町に伝わってきていないが、まじめに取り組むことにより当町がグレートアップするという理解をしており真剣に取り組んでいく姿勢が町として必要ではないかと思う。

税務課 関係

質問 当町では町税のコンビニ納付システムを今後導入する予定があるか。

税務課長 現在はしていないが、今後する計画はある。

質問 固定資産税の不納欠損処理というのはどういう処理なのか。

税務課長 不納欠損は2種類ある。会社倒産等による執行停止処分と、5年の時効による不納欠損がある。

福祉推進課 関係

質問 福祉タクシー券の助成金の対象者を精神障害者まで拡大できないか。

福祉推進課長 富士北麓の自立支援協議会では、そのような対応を検討している。町は、県の補助金規定の中で現在実施している。

質問 富士河口湖町の人口を増やすため結婚相談所委託料40万円が計上されているが、この委託先はどこか。

福祉推進課長 結婚相談所運営の委託先は町の社会福祉協議会である。電話料、交通費等で、1人年間1万2000円お礼として、あといろいろあるが40万円という金額で委託をしております。体系的な形でお願いしている。

要望 結婚相談所というのは、切実な問題であり、旧足和田、旧上九にとつて重大な問題である。予算をつけてでも、婚活イベントをぜひ実施してほしい。

健康増進課 関係

質問 芙蓉の湯と健康プラザに券売機2台を設置することだが、無料の人はどのような形でチェックするのか。

健康増進課長 券売機の中に無料のチケットの券売機が設置できればそれを利用し、できなければ、何らかの方法を考えていく。

環境課 関係

質問 新しい事業として風力発電に取り組むのか。

環境課長 町では今、太陽光発電をしているが、水力発電や風力によるエネルギーが確保できないか調査をする。

企画課長 国勢調査の他にも、いろいろな統計調査があるが、できる限り外国語のできる人を同行し会話の問題に対応する。
質問 地域住宅交付金は人口増加が目的という。ひとり暮らしはどうして対象外なのか。
企画課長 補助金要綱、条例の中で、世帯主、家族形成を持っていることが条件になっている。
質問 ふるさと応援寄附金を増やすための取り組みは。
企画課長 当たり前のように毎年寄付される方もおり、浸透されているが、

比較的風が強いという富士ヶ嶺で調査を行う。

農林課 関係

質問 地産地消の促進協議会があるが、どんな形で地産地消の促進をしているのか。

農政係長 毎年8月の東京都中央区大江戸まつりに出向き、農産物の直売、乳製品のPR等を含めた交流活動を行っている。

観光課 関係

質問 道の駅の収支について説明を。

観光課長 ここ数年はきびしい経済状況もあり、若干の赤字となっている。

質問 22年度はどのような冬花火を上げようとしているか。

観光課長 基本的に現在の回数は変えないが、クジャクの花火は中止する。上へ上げる花火に変えたい。

建設課 関係

質問 町道で未登記の土地はどれぐらいあるか。

建設課長 現在、確実な数字はつかんでいないが、3000筆から4000筆程度はあると思う。



八木崎公園

都市整備課 関係

質問 八木崎公園の整備で、街灯設置数と設置時期は。

都市整備課長 ソーラーの街灯を設置したいが設置数は確定していない。ハーブフェスティバルの間にあわせたい。

質問 区画整理事業のフロレストの開店時期はいつか。町民への周知はどうするのか。

都市整備課長 道路工事の進捗にもよるが、今秋あるいは来春になる。

住民への周知は広報やホームページを利用する。

学校教育課 関係

質問 学校給食の現場で、臨時・嘱託の

職員が多いが、正規職員を任用する考えはあるか。

学校教育課長 予算面からも今の体制でよいと考えている。

質問 町立北中学のプールの改善は。

学校教育課長 なるべく早い時期に取り壊して整地するよう検討する。

質問 外国語指導助手の採用基準の中に資格等があるのか、単に外国人なのか。

学校教育課長 特に資格等は持っていないが、派遣会社で必要な講習等を行ってから派遣している。

生涯学習課 関係

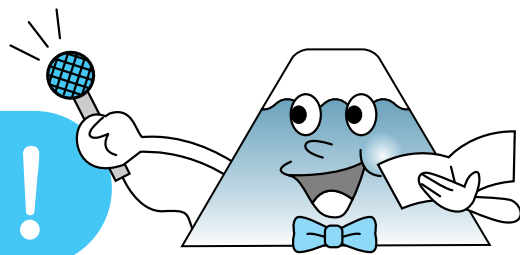
質問 I・V・Vの記念大会は、どのような準備段階で進めるか。

生涯学習課長 アジア圏を中心にして国際的な大会にしていきたいため4月から5月の早い段階で、自治会長・区長・学校関係者・保育所関係者、それにもみじマーチの実行委員を加えて実行委員会を立ち上げ、実施していく。

質問 総合型地域スポーツクラブ、富士山クラブの状況は。

生涯学習課長 今、無料体験の教室を開催している。参加者の評判は良く、目標の会員200名以上に向けて、運営委員約30名が努力している。

知りたい！ 聞きたい！



親樹会代表質問者
三浦 康夫 議員

生活優先 予算の取り組みは

Q1

質問 町長の基本政策である「環境、教育、福祉」の予算配分はどうか。また、地域密着型特養老人施設の進捗状況は、国のエコ対策の一環としての町単独の新たな補助金はあるか。

町長 町単独予算で4月1日より中学校3年生まで医療費無料化、女性特有のガン検診事業の継続推進等で民生費は前年比5億円増額である。また、特養施設は本年4月に町の運営委員会を開き公募の日程を決め、平成24年3月に開設予定、環境では新規補助事業としてエコキュートの施設に1台1万円を補助する。

Q3

観光立町の活性化対策は

質問 高速道路無料化に向けての取り組み、さらに若彦トンネルの開通に伴い北岸地区の観光活性化策、および箱根町との観光交流締結等の取り組みの進捗状況は。

観光課長 無料化は当町の観光には効果大である。さっそく町のホームページで告知する。若彦トンネルの情報をキャッチし、2月から観光業者へキャラバンを実施している。また、昨年12月10日に町長以下観光協会員8名で箱根町を訪問し、富士山周遊観光を目的にバス路線の開発を検討している。

質問 昨年茅葺の全20棟が完成し本年グランドオープンする「いやしの里」だが、施設のトップが不在と聞く。その対策は、さらに五感文化構想の中心施設、河口湖ハープ館の収益が財団を潤したが、5年前より収益が悪化し環境の変化でハープ館のリニューアルを検討していると聞く。再生計画の内容は。

町内施設の運営方針は

観光課長 昨年12月いやしの里地区検討委員会を設置し、本年3月に公募することを決定した。

町長 すぐできる対策としてハープ関連の特産品の開発をすることを決定、その準備に取り組んでいる。また、当財団は事実上破綻状態。今後公益法人の改革をする予定である。

Q4

水道事業の運営方針は

質問 町の上水道事業は水道料収入だけでは運営が非常に厳しく、各財産区の借入金で賄っている。今後財政的に困難な状況が予想され水道料金の値上げを検討すると聞く。今後の方針及び町内の各地区で水道料金の格差への対策は。

水道課長 水源の確保、老朽化した配水管の敷設、維持管理等の健全経営を行うには水道料金のアップが必要である。適性料金は本年3月末に水道ビジョンで決定する。料金格差の解消は全国的な問題。平成28年を目安に上水道と簡易水道を一本化できるよう検討する。

だいひょう・かんれん
代表・関連質問



ハーブ館

Q5 小中学校の適正配置は

質問 当町は小中学校の適正配置をして教育環境の整備を進めるべきだが、各学校には歴史的な背景や地域住民の思いがあり、保護者や地域住民との意見交換が大切である。また、来年4月に計画されている精進小学校と富士豊茂小学校の統合案は、保護者や地域住民の意見交換で慎重に対応を求める。

教育長 審議会の答申を基に保護者、地域住民と十分意見交換し慎重に進めていく。

答申 では精進小学校と富士豊茂小学校の統合は難しく、精進小学校の保護者は勝山小学校を希望している。また、富士豊茂小学校も複式学級で、生徒の減少が続くので平成28年には統合も考える。

関連質問

キラキラ河口湖夏物語とは水道ビジョンとは

関連質問者

外川 正純 議員



質問 ハーブ館再生計画の中に新企画「キラキラ河口湖夏物語」の記事がある。その内容は。

適切な水道料金の検討をするための水道ビジョンを作成中と聞かすが、その内容は。

観光課長 「キラキラ夏物語」の企画は準備段階である。協賛金・補助金・収益金等で打ち合わせ、今後実行委員会を立ち上げる予定である。

水道課長 水道事業ビジョンは今年3月末日完成する。このビジョンはコンサルタントで作成した。

上水道施設の接続を進め料金を下げよ

関連質問者

高山 泰治 議員



質問 富士ヶ嶺地区の上水道施設は6億円強の投資で今年3月に完成したが、各家庭への接続が進まない。

水道料金が異常に高いのは漏水が原因。早急に接続することで料金が割安になる。その対策は。

水道課長 3ヶ年計画で水道管を整備した。現在三分の一の90軒が接続完了。今後一日も早く接続し、水道料の値下げを検討する。

生活道路工事の継続を学校統廃合で子どもの心のケアは

関連質問者

渡辺 余緒治 議員



質問 三本柱である環境、教育、福祉。特に特別養護老人施設に関して、県との連携をお願いする。生活環境の生活道路事業の整備は次年度計画でも継続してほしい。

さらに、小中学校の適正配置では、一番に子どものことを考えるべき。特に心のケアは大切である。統合に際してどう配慮をするか。

町長 生活道路の整備は、国の経済対策交付金を活用し早急に対応する。

教育長 統合に際し、特に子どもの心のケアは大切である。統廃合する時は、一年間だけ子どものケアを色々な面で加配することに気をつける。

高速無料化・若彦開通で効果的なPRを

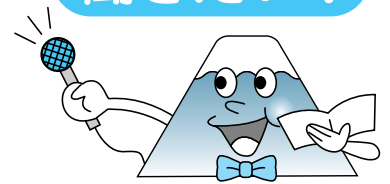
関連質問者

渡辺 元春 議員



質問 高速道路無料化の開始時期が決定次第、各種イベント等のチラシで宣伝する考えはあるか。また、若彦トンネルが開通し、富士山、河口湖という日本一の景観が実現できる。さらに北岸の観光PR・整備が必要であるが。

観光課長 高速道路は本年6月に無料となる。イベントチラシを作り、さらに若彦トンネル開通で自然生活館を中心にビューポイントを整備し宣伝していく。



一般質問者
渡辺 洋 議員

Q1 企業誘致に対する 方針・施策を問う

企画課長 従来のやり方では優良な企業になかなか進出してもらえない。土地の提供、誘致に伴う行政協力等、行政・住民・地域ぐるみの環境づくりが大切である。

Q2 小立区画整理区域内に 公園・広場・教育施設・公民館等 の公共施設の整備を

都市整備課長 小立区画整理区域内の公園・広場は、工事完了後に町に移管される。公共施設の整備については現時点では予定はない。

しかし、組合では2,900坪の保留地を町に取得してほしいという要望があり、地域の要望等により各所管部署で計画があれば、早急に組合との協議を行い、保留地を取得する必要がある。



小立区画整理

Q4 歩行者・自転車利用者に 安全・快適な道路網の整備を

建設課長 歩道計画の主なものは、合併支援道路、河口湖町「期」バイパス、河口湖町北岸大石小前、県道河口湖精進湖線、小立区画線外道路、町道乳ヶ崎線拡幅工事等、合計10路線。延長12キロほどが現在計画中または工事実施中である。

交通安全対策として、運転者の自然誘導を促すための路面表示、車道路の一部のカラー舗装化、歩道や自転車が通過する路肩の側溝蓋の整備。

また、歩行者・自転車運転者の交通マナーの改善、地域住民や警察署、関係機関と協力し、総合的に歩行者や自転車利用対策に取り組むことが肝要である。

Q3 健康科学大学への 今後の支援策は

企画課長 町が誘致した大学だが、健康科学大学は私学なので、経営陣には自助努力として最大限の経営改善をしてもらうのが前提。
大学の持つ知的財産を活用し、町民の健康づくりに寄与していただくなど、町と大学が連携し、大学を地域の知の拠点として位置づけることで、町から大学への委託金・協賛金等を結びつけばと考える。

いっばん
一般質問

Q1 広域救急医療病院 24時以降の体制は？

質問 富士・東部小児救急医療センターの24時以降の診療は必要不可欠。富士北麓地域の救急医療体制を伺う。

健康増進課長

一昨年の10月30日富士吉田市に富士・東部小児初期救急医療センターが開設された。診療時間は、平日午後8時から深夜12時、土曜日午後3時から深夜12時、日曜・祝日午後9時から深夜12時で、小児科専門の救急体制が整備された。

深夜に具合が悪くなった小児は、甲府市の小児初期救急医療センターに診療に行かなくてはならない。24時以降の診療体制の問題は、県議会でも取り上げられ、知事は「当面診療時間の延長は厳しい。」との答弁。厳しい状況だが、前向きに促進したい。

町長 富士・東部地域医療推進協議会には、救急医療センター設立当時からかわっている。

地域住民の声を、協議会の場で伝え継続して粘り強く取り組む。

Q2 船津・平浜地区の開発は？ 施策はあるか

観光課長 大久保にぎわい交流広場、小曲展望広場、石畳の整備などを行っている。

魅力ある観光作りのための事業だが、これをどう生かすか地域住民と協議する。



一般質問者
井出 総一 議員



小曲展望広場

Q3 鎌倉街道の小曲から白山神社までの山腹の道路敷は通行が困難であり危険緊急に第二次工事を望む

建設課長

鎌倉街道は歴史的にも重要な道。限られた予算の中、できるところから工事していくことが重要。

Q4 井出議員のその他の質問

質問 大久保交流にぎわい広場整備の今後の作業工程は？二次開発計画を望む。

都市整備課長 公園や駐車場の整備を進め、23年度中には完成する。二次開発は町づくり交付金事業の補助金で整備。

質問 観光立町を唱える今後の観光ビジョンは？

観光課長 通年型の観光地を売りにする。民間の知恵・力・協力、観光資源を生かし、滞在型の観光につなげたい。

質問 ひとり住まいの人たちにどう対処するか。

福祉推進課長 特に支援が必要な世帯は、民生委員と連携して相談・24時間の見守りを行っている。

一般質問
井出 総一



がん検診無料クーポン券つき
女性のためのがん検診手帳



一般質問者
佐藤 安子 議員

Q2

子宮頸がん予防ワクチンの 公費助成について 町長の英断を強く望む

質問 子宮頸がんはウイルスが原因のため、検診による早期発見・早期治療と予防ワクチンの接種によってほぼ100%予防が可能であると云われている。1回のワクチン接種費用が約1万5000円で3回の接種が必要となるため、公費負担が不可欠。

杉並区では2010年度から、中学進学お祝いワクチンとして、3回分のワクチン接種費用が無料になる。「女性には命のリレー」という大切な使命がある」予防できる唯一のがん、子宮頸がんのワクチンの公費助成への町長の英断を強く望む。

健康増進課長 まず、子宮頸がんに対する啓蒙・啓発活動に取り組む。ワクチン接種の公費助成については、国の動向を見ながら検討する。

Q1

質問 国の第1次補正予算で一定年齢の方を対象に乳がんと子宮頸がんの無料クーポンの配布を実現した。受診率アップは図れたか？この無料クーポンは5歳刻みの方を対象としているため、5年経たないとすべての人に行き渡らない。無料クーポン配布事業への取り組みについて、町長の考えは。

健康増進課長 昨年と比較して、無料クーポン券を発行し受診勧奨に努めたことで、受診率も向上し、大きな成果を得た。国の補助金を使い、平成22年度も女性特有のがん検診推進事業として無料クーポン券を配布する。

女性特有のがん検診無料クーポン券 配布事業の取り組みを伺う

Q3

町ぐるみで「もったいない」 運動を展開する考えはあるか

質問 平成20年度の可燃ごみの処理に2億7200万円という多額な経費が支出されている。本場に「もったいない」金額。1割減らせば2720万円が浮く。このような取り組みは、町民一丸とならないと効果が出ないが、町ぐるみで「もったいない」運動を展開する考えはあるか、町長に伺う。

環境課長 ごみ処理費は、町が行う事業の中でも多額の負担となっている。町民、事業者及び行政が一丸となって廃棄物の減量に取り組む必要がある。分別の指導を行い減量及びリサイクルに取り組む。広報及びホームページ等で周知。

いっぱん
一般質問

Q1

学校統廃合を問う

小規模学校の良さも考えるべき

質問 町は小中学校の統廃合をすすめる理由として、適正な学校規模の確保を挙げている。

という規模か、適正とする理由は。

教育長 クラス替え可能な1学年2クラス以上が望ましい。3グループ以上の小集団による実験や体育の集団球技などができ、中学校では部活動の選択ができる規模であるということ。

再質問 富士ヶ嶺の住民説明会では、大規模校と比べ豊茂小は少人数で環境もよく、質の高い教育を行うなど、小規模校の長所が多く出た。こうした点も考えるべきだ。

教育長 子どもが少なすぎてかわいそうという保護者もある。教員の配置も財政的に厳しい。住民の意見を聞き、統廃合をすすめていく。

再々質問 複数の学校での合同授業などの工夫もある。大嵐の町営住宅建設により子どもが増えた。そういう努力を。

町長 子どもを増やすこと、地域の活性化をどうすべきか地域住民と考える。

「地域に学校を残したい」の声に耳をかたむけよ

質問 「学校がなくなれば過疎化が加速する。学校を残したい。」という声が地域から出ている。学校は地域のかなめ。学校がないと地域の荒廃を招きやすい。地域住民の声に耳をかたむけて判断すべきだ。

教育長 少子高齢化は避けて通れない。子ども中心から地域住民中心の地域づくりで、地域の活性化を図ることがこれからの課題。

Q2

ひとり暮らし高齢者への対策を強化せよ

福祉推進課長 「ふれあいペンダント」利用者は64名。ひとり暮らし高齢者の10%、高齢者のみの世帯を含めると5%。66名の民生委員の声かけ、公民館での小地域福祉活動、芙蓉の湯でのいきいき交流広場などに取り組んでいる。地域住民と連携し支え合うまちにしたい。



小学校での授業風景

一般質問者
山下 利夫 議員

一般質問
いっぱい

『植物は私の宝物』



押し花作家
金子 政子（船津 南台）

自然の恵みに感謝しながら、日々植物を押し花にする。一輪の花を一枚の葉を採取することから作品づくりは始まる。仕上がったものに自然の恵みの鼓動を感じたい。

世の中は文明や科学の発達により随分便利になってきた。しかし人々は、懐かしい貴重な文化・建造物・行事を少しずつ忘れかけてしまっている。重要文化財でなくとも、ガイドブックに載っていないくても、日本の古き良き時代の面影を残している場所が全国にはまだある。残り少ないノスタルジーを求めて、私は各地を歩き、心に残った風景や人々を押し花絵にする。美しく整った風景を描くのではない。光と影のドラマ、風の動きと空気の冷たさをも表現し、遠くにかすんだ山も水の流れも植物で作ることに徹したい。また、子ども達の笑い声や働く人の汗、そこに息づく大自然の鼓動までも表現したいと思っている。静止画で

ありながら、動画のような感覚、そして何よりも見てくれた人の心が温かくなるような作品を。

私のまわりには数えきれない植物がある。それを私は宝物だと思う。宝物は大切に育てやさしく扱う。教室の仲間達とも、常に自然の恵みの大切さを語り合う。

私は画家ではない。美術大学を出ているわけでもなくパリに留学したわけでもない。一介の主婦が、四つ葉のクローバーを「押し花しおり」にすることから始まる世界。植物の無限に広がる色・形・質感が私達の作品づくりを助ける。私達は植物たちが作品の中で、一番素敵に見えるよう、生かせるようプロデュースする。日々押し花を楽しむことができれば、誰にでもいつかはできる作品の数々。しかしまた、追求すればする程、奥が深い。私は常に試行錯誤している。見てくれた人の心に、少しでも響く作品をつくらうと。

議会見・聞・録

町民多くの議会傍聴を

合併以来機会あるごとに議会を傍聴してきた。

昨年の改選により女性議員が誕生したこともあり、どことなく新鮮な雰囲気も感じられた。3月定例会は、都合により代表質問及び関連質問のみの傍聴でしたが、傍聴人の少なさにがっかりでした。

町が直面している課題や、今後の計画・方針など議会・執行部とも真剣に取り組んでいる様子が伺われる。これからのことを身近に知り、感じ取る絶好の機会が議会傍聴ではなかろうか……

一人でも多くの町民が傍聴することを期待する。（西湖西・渡辺）



編集後記

いつも議会だよりをお読みいただきありがとうございます。平成22（2010）年度が始まって1か月半を過ぎました。4月から新しい生活を始めたという方も、少しずつ生活になれてきた頃でしょうか。

前回の議会だよりにひきつづき、さらにレイアウトを新しくしました。議会のようすをよりわかりやすくお伝えできるよう、より見やすい紙面づくりに努力したつもりです。ご意見などありましたらお気軽にお寄せください。

議会を傍聴しませんか

次の定例会は6月です。

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を済ませ傍聴してください。入口には注意事項が掲示されています。